

科目名	健康と薬			ナンバリング	GEN312	授業形態	講義
対象学年	1	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	吉川真一	担当教員	永田隆之、村田亮				

授業の概要	薬は様々な病気から健康への回復の手助けとして用いられ、私たちの健康を維持するために欠くことのできない存在となっている。講義を通して薬の知識と薬剤師の役割を知り、薬と健康に関する正しい知識を身につけ、これからの人生を健康で社会に貢献できるものとするを目標とします。						
到達目標	・薬剤師の役割について説明できる ・薬の服用方法について説明できる。 ・一般用医薬品について説明できる。 ・薬物乱用について説明できる。 ・薬のはたらきについて説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	常に健康について関心を持ち、興味を持ってテレビのニュースをみたり新聞をよく読むこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
この講義を通して薬について興味を持ち、通常の生活における健康に関するニュースが理解できる。	この講義を通して薬について興味を持ち自分の健康や周りの人たちの健康を考えることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート			○	○			授業態度と合わせて最大50%
宿題・授業外レポート	○	○					50%
授業態度・授業への参加			○	○			授業内レポートと合わせて最大50%

課題、評価のフィードバック	授業内レポート(ミニツツペーパー)による疑問点については、まとめの授業時に回答する。 期末レポートは、学生から要請があればいつでも開示する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	病気と治療の歴史(吉川真一担当)	古代から現代までの病気治療の変遷を説明します。	
	第2回	薬の正しい使い方(吉川真一担当)	薬の服用方法など、薬の使い方に関する基本的な考え方を説明します。	
	第3回	感染予防(吉川真一担当)	感染症の発症の原理と感染予防の考え方について説明します。	
	第4回	最新の医療における薬剤師の役割(吉川真一担当)	新医療現場における薬剤師の役割を説明します。	
	第5回	まとめ①(吉川真一担当)	第1回から第4回までに寄せられた質問を解説します。	
	第6回	一般用医薬品(永田隆之担当)	一般用医薬品(OTC医薬品)のリスク分類とセルフメディケーションについて解説します。	
	第7回	ジェネリック医薬品(永田隆之担当)	ジェネリック医薬品とはどういうものかを特徴と歴史を踏まえて解説します。	
	第8回	薬物乱用(永田隆之担当)	乱用されやすい薬物について解説します。	
	第9回	副作用・薬害(永田隆之担当)	医薬品の副作用と日本における主な薬害事件について解説します。	
	第10回	まとめ②(永田隆之担当)	質問への回答を通して第6回から第9回の要点整理を行います。	
	第11回	新しい薬ができるまで(村田亮担当)	新しい薬が生まれて臨床で用いられるまでを説明します。	
	第12回	薬の投与される形(村田亮担当)	人体に投与される薬の形について説明します。	
	第13回	薬に関する試験(村田亮担当)	薬の規格や安定性に関する試験を説明します。	
	第14回	体の中での薬の動き(村田亮担当)	薬の体の中での動きについて説明します。	
	第15回	まとめ③(村田亮担当)	第11回から第14回までに寄せられた質問を解説します。	
	試験	試験は行いません		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。		
授業外学習の指示		配布資料を中心に講義の内容を復習する。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	特に教科書は指定しません
参考書	講義資料は学修支援システムmanab@IMUに掲示する予定です
参考URLなど	
その他	